



活用しよう！My note (マイノート)

My note (マイノート)とは、子どもたちが目標や予定、日々のふりかえりなどを記録することにより、自分自身のことや自分のやるべきことを「見える化」し、自己実現に向けて活用するための本市オリジナルのノートです。

小学校5・6年生と全中学生を対象に配付し、10月から新たな取組としてスタートさせました。このノートは、自己分析や目標設定、月間スケジュールや1日1ページの記録とふりかえりなどのページで構成されています。また、携帯性を考慮して1冊あたり約3カ月分の分量とし、1冊を使いきった子どもたちには、新しいノートを渡すこととしています。

My noteは文字どおり「私のノート」ですから、その使い方は、基本的に子どもたち自身が自己選択・自己決定して決めていくものですが、ノートの活用を習慣化させるためには、ステップも必要です。毎日開いて書けそうなどころから書き込んでみて、とにかく始めてみる

段階の「ステップ1」。学校のことでだけでなく、家庭学習や部活動、プライベートな予定や目標などもどんどん書いて、書くことを増やしていく段階の「ステップ2」。設定した目標への計画を立て、実行した後にふりかえり、次のチャレンジを再設定するなど、目標達成に向けて活用する段階の「ステップ3」。これらのステップも参考に子どもたちが、主体的に自由な発想で記録し、自身で計画・実行・評価・改善のサイクルを回すことができる姿をめざしています。

教育委員会では、今後、My noteの活用を重ねていくことで、生活習慣および学習習慣の確立や非認知能力の向上、自律できる力の向上などを期待し、この予測困難な時代に求められる「主体的に学びに向かう力」を高めていきたいと考えています。

引き続き、本市教育行政へのご理解ご協力をお願いいたします。

学校園紹介



本との出会いを大切に
～日新小学校～

夏休み前から始まっていた学校図書館の改修作業も終わり、10月から新しくオープンしました。蔵書の入れ替えもあり、新しい本も増え子どもたちも再開を楽しみにしていました。図書委員会でもたくさんのお本を読んでもらえるようにと、さまざまな工夫を考えています。



現在、さまざまなことが映像で発信されるようになり、本を読むことが減ってきているといわれています。しかし、読書をとおして得られることもたくさんあると思います。また、文章から場面や心情を想像したりする力の育成にもつながると考えます。

本校では、保護者や地域の人で、図書ボランティアの活動を行っています。ここ数年間は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり活動が難しかったのですが、今年度より再開されました。新たなメンバーも加わり、学校図書館の掲示物の作成や「お話の会」「折り紙教室」を開催し、学校図書館を起点に子どもたちに関わっていただいています。

これからも、保護者や地域の人のご協力をいただきながら、子どもたちが多くの本に触れる機会を創っていきたいと思います。



子どもの「かかわる力」の向上をめざして
～北中小学校～



コロナ禍の3年間、学校生活では対話などの活動が制限されてきましたが、相手に自分の考えを伝えたり、意見の違いを認めつつお互いが納得するよう調整するといった、人と「かかわる力」

を育てることが必要です。

本校では水曜日の朝、15分間の「つながりタイム」に取り組んでいます。ペアや小グループでゲーム要素も入れながら会話を楽しんでいます。例えば、「山と海のどちらが好き?」「好きな季節は?」などのお題を使って相互に自分の意見を伝えたり、その理由を聞いて会話を深めたりします。また、「先生や友だちの話をうなずいて聴く」などのルールを決めることで、どの子も安心して発言することができるようになりました。

つながりタイムのルール

- あいさつをする
「おねがいます」
「ありがとうございました」
- うなずいてきく
- せんせいのしじをしっかりときく



「つながりタイム」を始めておよそ1年になりますが、子どもたちはとても楽しそうに参加しています。喧嘩などのトラブルが減り、温かいクラスの雰囲気や子どもの笑顔が増えました。